

プロジェクト名	ぜひ欲しいドイツ製便利グッズの紹介広告を作る
タイプとレベル	「リーディングと語彙」 A2～B1、 「ライティングと文法」 A2
期間	準備期間として毎回の授業の後半 30 分を 3 回＋プレゼンテーション（90 分）
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画面 （課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）	課題 : 2 人 1 組でペアを作り、ドイツの通販サイトで見つけた家庭用のアイデアグッズを 1 つ選んで、それを紹介する。A4 で 1 ページの広告を作り、2 週間後にそれを使って、販売促進用のプレゼンテーションを行う。その際、商品売り込むための短いキャッチフレーズも考える。 目的 : 1) 簡単なドイツ語のテキストを読んでその内容を理解する (A2～B1 レベルの reading)、2) 1 つの対象に関してその特徴や機能をドイツ語で記述する (A2 レベルの writing)、3) ドイツ語という他言語で、一番伝えたい内容をインパクトの強い表現にまとめる練習をする。4) 新出語彙の発音を自分で調べ、発音できるようにする。 利用可能なツール : 学生 : Amazon Deutschland、ドイツ語圏の各種キッチン用品の通販サイト、Glosbe・Reverso Dictionary などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用アプリ Strip Designer、Word、PowerPoint 等。 教員 : 語学教員用教材共有サイト iSLCOLLECTIVE 技術的な前提 CALL 教室等が使えれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。 プロジェクト進行プラン ① 準備 : 1) 教科書で、食事や料理をテーマとした単元を学習し、様々な食品の言い方や果物・野菜などの名前などに慣れておく。2) ”Wortschatz zum Kochen”等のキーワードを使った Google 検索等を通じてリストアップするか、iSLCOLLECTIVE 等の教材共有サイトから料理関係の語彙を扱う問題シートを直接ダウンロードするかして、料理用語と

して使われそうな様々な動詞 (kochen/ braten/ erwärmen/ backen/ schälen/ reiben/ hacken/ schneiden/ zerbröckeln/ gießen/ (ver)rühren/ vermischen/ streuen/ zerdrücken/ auspressen/ servieren 等) を扱っておく。3) ドイツ語を使ったメモの書き方を意識化する練習をしておく。具体的には、以下の原則の徹底：1) 英語と異なりドイツ語の動詞句では不定形の動詞は後置される。2) 日本語とは異なり、情報を返す場合に、名詞だけで応えることは通常不可。3) 対応する疑問詞を意識し、情報の単位としては、副詞 (句)、前置詞句 (Wechselpräposition の場合は 3/4 格も意識する)、名詞句 (必要な冠詞を忘れない) 等のまとまりのある形で応える必要がある。

① 第 1 回：最初に教員が、何かの便利グッズまたはその写真等を授業で見せてクイズ形式で考えさせる。そのあと、それを簡単なドイツ語で紹介する。その際一方的に紹介するのではなく、常に、クラスに質問やコメントを投げかける形で進める。次に課題を説明し、便利グッズの検査方法をデモする。

② 学生は 2 人 1 組でペアを作る。アマゾンのドイツ語版サイトの家庭用品のページやドイツ語圏の各種キッチン用品の通販サイトを使って、キッチンで使うアイデア商品を探し、その中の 1 つを選ぶ。

便利グッズの例：Maiskolben Schneider – LexTECH (トウモロコシの実のかき取り用ナイフ)、Gazechimp Mais Drescher (トウモロコシの実のかき取り器)、ikalula Wassermelonen Schneider (スイカ用ナイフ)、WMF Gourmet Birnen- und Apfelschneider (ナシ・リンゴカッター)、Westmark Kirschenentkerner (サクランボ種取り機)、Brainstream Hamburger Piep-Ei (ゆで卵タイマー)、WMF Eierpikser (皮むき用の卵穴開け器)、EIERKING Eiermacher (殻無し卵ゆで器)、Take2 Clack Eierköpfer (エッグカッター)、OXO Good Grips Eier-Pochierer (シリコン型ポーチドエッグ作成器)、Rosenstein & Söhne Donutmaker (ドーナツ焼き機) 等

③ 第 1 回～第 2 回：その商品の物理的な特徴や固有の機能、値段など調べ、それをドイツ語で記述する。

④ 第 2 回～第 3 回：読み手がその商品を買いたくなるような、その商品の利点や使い勝手をまとめ、売り込むためのキャッチフレーズを考える。

⑤ 第 3 回：手書き画像あるいは写真を使った漫画作成用のアプリ Strip Designer を使って、項目ごとにコマ割りして配置する。ちらしを印刷するとともに PDF 化してネット上に挙げる。それに簡単にアクセス出来るよう、WWW 上の QR コー

	ド無料作成用ページを使って、ちらしの冒頭にアクセス用 PR コードを貼り付ける。 ⑥ プレゼンテーションの際には、画像を示し、これが何のための道具かをクイズ形式で出題する。自由回答方式でも良いが、答えが出てこなかったときに備え、四択の選択肢用フィリップも用意しておく。最後に、参加者全員に投票の形で、この値段のこの商品が欲しいかどうかを挙手で聞き、結果を記録する。欲しいという人のパーセンテージが一番高い便利グッズをプレゼンしたペアは、最後に表彰。
ポイント	1) 最初に課題とプレゼンテーションまでの日程を明示し、発表会は、企画運営も含めて学生たちがすべて行くと伝えておく。 2) 内容面では、自分が本当に欲しいと思う商品をさがし、<u>どこが良いと思ったかを自分の言葉で表現させることが重要。</u> 3) このパターンを利用し、日本の便利グッズをドイツ語で紹介する作文プロジェクトも可能。(参考画面参照) 4) 最初の部分のみ授業で扱い、残りは、冬休み中の宿題として課すことも可能。

参考画面

